



大人のための 考古学入門



市内の発掘調査事例をもとに、考古学について、やさしく学びませんか。「どうする家康」で重要な役割を果たした市内の城館についてお話しします。

- とき** 9月23日(祝)
午後1時30分～3時
- ところ** 研修室
- 対象** 中学生以上
- 定員** 25人
- 参加費** 無料
- 申し込み** 9月15日(金)までに直接、電話、メールで参加者全員の住所・氏名・電話番号を博物館 (✉ museum@city.gamagori.lg.jp) へ。



S L 写真と 鉄道ミニチュア機関車展

- とき** 9月16日(土)～18日(祝)
午前10時～午後5時 (初日は午後1時～、最終日は午後4時まで)
- ところ** ギャラリー
- 内容** 蒲郡S Lを守る会の協力で、機関車などの鉄道模型を走らせます。D51の写真パネルや鉄道グッズを展示します。



竹島水族館 Aquarium ☎ 68-2059

館長の
ひょうたん



小林龍二

施設内に造形物がどれだけ使用されているかを見ると、水族館の裕福度をそれとなく知ることができます。造形物というのは、水槽内に設置してある岩(ほぼ偽物なので)や人工の木、館内の装飾などです。あの水族館とこの水族館を比べればその財力や姿勢の差が歴然! というような内部情報は私の口から申し上げることができませんが、竹島水族館は安易に財力に頼らず(頼れず)できることは自分たちの工夫や知恵や腕力、体力、人脈などのお金ではない大切な物で立ち向か(わ)ざるを得ない(う)姿勢をゆるぎない(言)い訳的に基本方針としています。



擬木よりもぐっとお安いんですが…
大きさに難あり。

今、新しい展示に向けて「木」が欲しいのですが、造形屋さんに発注したら指定通りの人工の木(擬木といいますが)が簡単・安全に手に入ります。ですが高価です。これは前述の方針に反するものです。最近、竹島の南東に10メートルほどの巨大な天然の流木が流れ着いているのを見し、これを何とかできぬものかと

思いました。ピラミッドの石を運ぶ絵のように、適度な鞭を用意して数人の若手飼育員に運ばせようかと思いましたが、竹島の橋は約40メートルありますし、そこを鞭で叩いて運ばせたらかわいそうです。それにめづたに使わない鞭を買うのも基本方針に反します。巨大流木を現地で適切な長さに切る必要もあります。縄で結んで、たけすい所有の船で港まで引っ張って来ようかとも考えましたが、大きさと重さから諦めるべきかどうか迷っています。

そんな木を使ってどんな新しい展示を考えているのか。うーん、それも内部情報なのでまだ申し上げることができません。お楽しみに。